

どうしがやプレーパーク通信 2020.9.27

◇日時：2020年9月27日（日）

午前10時30分～午後3時

◇天気：くもり

◇場所：豊島区立雑司が谷公園
（芝生広場～どんぐりの森～噴水広場）

◇参加：100人程度

◇スタッフ：早川、浜野、井上、佐分

◇お手伝い：坂田さん（コマ）、稲葉さん、
藤田さん、岡田さん、清水さん（東京下町
紙芝居）

◇来訪者：関川さん（荒川冒険遊び場）、三
枝さん（豊島区社会福祉協議会）

◇取材：（JIBUN マガジン*）稲葉さん

*文京区とその周辺のまち情報のウェブマ
ガジン

◇企画：風車を作って遊ぼう（講師：井上、
浜野）

◇みられた遊び：坂すべり、チョークあそ
び、段ボール工作、竹とんぼ、ベーゴマ・コ
マ・けん玉、ティピー、布あそび、おにご
っこ、かくれんぼ、虫捕り、段ボールチャン
バラ

◇簡単報告：

◆新生雑司が谷公園で、初めての開催。天
候不順、コロナ禍で、中止が続き、7か
月振りの開催となった。

◆常連参加者に加え、新しい公園にふらり
とやってきた家族連れの参加も多かった。

◆風車づくりの看板がアイキャッチとな
り、新しく来た人にも敷居が低く、参加し
やすい雰囲気だった。

◆今年度から、プレーリーダーとして加わ
ってくれたハッチ（早川）が、子どもたち
の遊びのきっかけづくりをたくさんしてく
れて、後半は子どもたち同士が声を掛け合
って遊びまわっていた。

◆会場が広くなり、芝生なので、全体とし
てくつろいだ雰囲気となった。

◆コロナ対策：消毒液をあちこちに置き、
噴水前に手洗い石鹸を用意して、特に道具
の使用前後の手洗い・消毒を呼びかけた。



◆シャボン玉：芝生→噴水広場で行った。噴水広場は、石鹼液がこぼれると滑る。今回は、看板を立てて対応したが、主に滑って転ぶのは幼児なので、時々水を撒くなど、別の対策が必要。このほか、シャボン玉液の配合を書いておくと、参加者がセルフで作れる。

◇特筆事項：

◆築山の芝生保護のために、段ボールで滑らせないで欲しい、という要望される方がいらした。公園の設計の段階から、子どもたちが登ったり、滑ったりできる山を作りたいと行政に要望した経緯や、月に一回区役所の許可を取って開催している旨、説明した。また、芝生保護の希望は、意見として、公園運営協議会に伝える旨、説明した。

◆丘の上テラスの更衣室：スタッフが着替えに使用したところ、ボール広場利用者のみ利用可能との説明があった。せっかくの設備なので、もっと公園利用者が柔軟に使用できる運用としてほしい旨、公園運営協議会にお願いした。

◇次回（10月10日）にむけて：

- ◆買い足すもの・準備するもの：
木工用ボンド、紙やすり、梱包用ビニールひも、段ボール、養生テープ、段ボールカッターへの記名、
- ◆行事保険の申請

◇今後に向けて

- ◆木の実、毛糸、大縄跳び、シャボン玉用洗剤
- ◆スタッフ紹介およびプレーパーク活動紹介、NPO 法人雑司が谷ひろばくらぶ紹介パネル作成
- ◆受付の場所をわかりやすくする
- ◆落ち葉利用、火の使用に向けての準備

